

地域コミュニティに関すること

町会・自治会が抱えている課題に関する意見

- ・ 新しく転入してきた若い世代は、町会・自治会へ加入しないため、世代交代が進まない。＜加藤 委員＞
- ・ コロナ禍でイベントができず、町会・自治会がなにをやっているかわからない状態になっている。＜加藤 委員＞
- ・ 昔からの地域のイベントは、今の時代に合っていない。世代をつなげる魅力あるイベントにする必要がある。＜渡部 委員＞
- ・ 若い世代で「やりたい」という気持ちがあっても、既に参加している人たちから「やらせてもらえない」という実態があり、分断が起きている。＜渡部 委員＞
- ・ 商工会議所等は、若い人が加入して世代交代が起きている。仕事としてやるのか、個人としてやるのかで異なる。＜遠藤 委員＞
- ・ 町会・自治会に参加しないことのデメリットは感じづらい。参加していなくてもイベント等には参加できてしまう。＜岡安 委員＞
- ・ 千住 1～5 丁目は、町会・自治会加入率が高い。大きな理由として、祭りなどのイベントでつながっている。転入時に地域の情報を提供できる仕組みを作してほしい。＜渡辺 委員＞

今後のコミュニティの方向性に関する意見

- ・ 災害と関連づけて地域コミュニティを考えていく必要がある。以前は家族単位で避難していたが、今は単身で避難することが多い。そういった場合にどうやって単身者を組織していくのか。＜宮本 会長＞
- ・ 社会全体は、弱い絆（ウィークタイ）を求めている。どうやって増やしていくか。＜宮本 会長＞
- ・ 大きな町会というのが今後も続いていく必要があるのか整理していく必要がある。今、やりたい人がやっている活動があるのであれば、そのネットワークが大事。町会・自治会のあり方を考える岐路にいるのではないか。＜小柳 委員＞
- ・ NPO等の活動に任せることは手段の一つだが、いずれ限界がきてしまうと感じる。どこかで町会・自治会加入率を下げ止めないといけない。＜岡安 委員＞
- ・ 災害時など、町会・自治会の果たしている役割は大きい。＜宮本 会長＞
- ・ 孤立・孤独対策を高齢者のみならず、広げていく（イギリス：リンクワーカーなど）。＜宮本 会長＞
- ・ 地域のつながりが必要であることをどうやって訴えていくか。＜岡安 委員＞
- ・ 地域でなにかをやろうとすると、女性仕様のものが多い。女性は会話から関係ができるが、男性はDIYなど活動から関係ができる。地域の中でそのような仕組みをつくる（イギリス：メンズ・シェッドなど）。＜宮本 会長＞

人口動態・構成に関すること

中年単身者に関する意見

- ・ 足立区に限らず、東京都内で中年単身者が増加している。中年単身者は、会社と自宅以外の居場所がなく、地域での付き合いが限られている。何か頼める人がいないので、高齢になると行政サービスに頼り切りになってしまう。＜宮本 会長＞
- ・ 8050 問題は行政のスコープと捉えていたが、これと比較して、中年単身者は行政ニーズが少なく、見えない層であると感じる＜長谷川 委員＞
- ・ 中年単身者は、行政課題となっていないが、10 年、20 年後に高齢化したときに表面化してくる。＜宮本 会長＞
- ・ 中年単身者が増加する流れを止めることは困難で、いかにそういう方たちの幸せをサポートすることができるかが重要ではないか。＜小柳 委員＞
- ・ 若年者を増やして人口構成を変えたところで、中年単身者は他区へ流れていくので、それで良かったと言えるのか。＜小柳委員＞

子育て世代に関する意見

- ・ 独身者が増えている中では、子育て世帯や若年者を呼び込むことを前面に出さないと、若年層が増えないまちなってしまうのではないかと。＜渡部 委員＞
- ・ もっと子どもを遊ばせたい、もっと勉強させたいという方は足立区から転出していつている。＜渡部 委員＞

防災に関すること

災害対策に関する意見

- ・ 災害時の要避難者の支援について実効性が難しい。しっかりと練ってほしい。＜岡安 委員＞
- ・ 水害時のマニュアルなどを知らない区民が多い。しっかりとPRして欲しい。＜加藤 委員＞

防災訓練に関する意見

- ・ 在宅避難など、避難の形が変わっている。防災訓練のやり方は時代にあっているのか。また、障がい者が訓練に参加できていない。＜渡部 委員＞

その他

公共施設に関する意見

- ・ 公共施設の在り方について、居場所や若い人の視点、長寿命化など複合的なことを考えていかなければならない。＜渡辺 委員＞

環境に関する意見

- ・ 家庭のCO2排出が多い。区民一人ひとりが環境にやさしいまち。＜岡安 委員＞

交通に関する意見

- ・ 電動キックボードなど道路の使われ方が変化しており、そのためのルールが必要ではないか。＜小柳 委員＞

子ども・教育に関すること

子どもの居場所に関する意見

- ・ 子どもも高齢者も居場所がなくなっている。コミュニケーション不足からひきこもりなどにつながっていく。＜山下友美 委員＞
- ・ 学童に入れず、特に高学年の子どもの居場所がなくなっている。＜山下友美 委員＞
- ・ 中学校くらいになると居場所がなくなっている。＜笠井 委員＞
- ・ コロナ禍を経て、環境が大きく変わり、1～2年生から不登校になるケースがある。＜片野 委員＞
- ・ 少年事件は不登校の児童・生徒が多く、グレーゾーンと言われる人もいる。グレーゾーンを支えてほしい。＜野沢 委員＞
- ・ 近隣に特別支援学級がなく、グレーゾーンの児童が学校にいけないことがある。それでも不登校とされてしまう。＜山下友美 委員＞

学校教育と地域・家庭との関わりに関する意見

- ・ 学校内の多様性が求められているが、今の人員では難しいと感じる。＜片野 委員＞
- ・ 親は学校に丸投げし過ぎていると感じる。家庭の財政状況が厳しいというのが背景にあるため、家庭の財政を助けることが必要では。＜笠井 委員＞
- ・ NPO など、いろいろな団体や人が関わっている学校にしてほしい。＜笠井 委員＞
- ・ 区の計画などで、「生活習慣の指導」などの記載があるが、実際には、家庭に丸投げしていないか。母親に負担がかかっている。＜秋山 委員＞
- ・ コンビニエンス（便利さ）を学校に求めてしまっている。＜野沢 委員＞
- ・ 今まで、家庭で担っていたものを、学校へ肩の荷を下ろさせてもらっている。＜秋山 委員＞
- ・ コロナ禍でコミュニケーションが取りづらく、PTA などの活動が落ちているため、立て直しが重要では。＜市村 委員＞
- ・ PTA に対して後ろ向きの姿勢をとられることが多い。有益なことがあるのに認識をしてもらえていない。＜笠井 委員＞
- ・ PTA は負担と捉えられてしまっている。＜山下 委員＞
- ・ 親同士がつながる場を大事にすることが、家庭の再生には重要では。＜ぬかが 委員＞
- ・ 教育、人材にお金をかけてほしい。ハード面、ソフト面の底上げをして学校格差を解消すべき。＜片野 委員＞
- ・ 教職員の負担が大きい。埼玉の教員の超過勤務の訴訟の判決もあった。教員の声も聞きたい。＜秋山 委員＞
- ・ 足立区の中学校はレベルが低くて行かせたくないという意見を聞くので、底上げが必要。＜野沢 委員＞
- ・ 子どもの学力と地域には関連を感じる。全体のボトムアップのため、底上げが必要な学校には良い人材を配置できないか。＜市村 委員＞
- ・ 学力の底上げとは別に、優秀な児童・生徒を更に伸ばす施策はできないか。＜秋山 委員＞

男女共同参画に関すること

ジェンダー平等に関する意見

- ・ 男女の家事・育児分担などがよく話し合われていないまま、法律や制度だけできている。＜秋山 委員＞
- ・ 女性はどんどん変わっており、経済的理由だけで働いているわけではない。＜片野 委員＞
- ・ 家庭内男女共同参画が必要で、女性が家事をやると決めつける風潮は良くない。＜片野 委員＞
- ・ 男性ゆえの生きづらさなどの問題にも焦点を当ててほしいと感じる。＜秋山 委員＞
- ・ ジェンダーフリーの視点を新たな基本計画には入れていくべき。＜片野 委員＞

区政運営に関すること

協創に関する意見

- ・ 足立区は行政がやり過ぎと感じる。NPO 等と一緒に協創していくことが必要ではないか。＜石阪 分科会長＞
- ・ いろいろな分野に活動団体があるが、行政がやり過ぎと感じてしまう原因には、主体性の関係に問題があると感じる（委託契約による委託者と受託者の関係など）。＜ぬかが 委員＞
- ・ 足立区にいる NPO が少ない。＜片野 委員＞
- ・ 地域で頑張っていた団体があったが、今は区からの委託事業になっている。再度、行政が育てていくことが必要では。＜ぬかが 委員＞

施策に関する意見

- ・ 他自治体と給付合戦になってもいいのでは。他市町村より上乗せした施策をしてほしい。＜野沢 委員＞
- ・ 中間層にメリットがある施策が少ない。＜秋山 委員＞
- ・ 予算をかけずに、ソフト面で質を高くすることができるのではないか。＜秋山 委員＞
- ・ 所得制限を撤廃できなくても、中間層に利益がある施策が必要では。＜ぬかが 委員＞
- ・ 民間を圧迫するような施策ではなく、地域の事業者にも利益のある施策を。＜片野 委員＞
- ・ 無駄な施策の廃止などが必要。＜野沢 委員＞
- ・ 職員提案から施策を打ち出すことや、所属を超えての提案ができる制度が有効では。＜ぬかが 委員＞
- ・ 区の発信する内容には、難解な言葉が多く、上の方を向いた表現になっているのではないか。＜秋山 委員＞

組織・人材確保等に関する意見

- ・ どれだけ足立区に良い人材を揃えられるか。待遇の改善も必要では。＜ぬかが 委員＞
- ・ 足立区でやりがいのある、働きがいがあるといった支援策を打ち出してほしい。＜ぬかが 委員＞
- ・ 政策コンテストや、改善コンテストなどはモチベーションになるのでは。適切な評価が必要。＜秋山 委員＞
- ・ 職員に対する目線が厳しい。ノイジーマイノリティの声に過度に対応しなくても良いのではないか。＜野沢 委員＞